

# かんが

## 議会だより No.152

令和4年度予算	.....	P 2
予算特別委員会質疑	.....	P 4
3月定例会	.....	P 5
議案質疑・委員会質疑	.....	P 6
委員会質疑・議会のうごき	.....	P 7
議決結果	.....	P 8
研修報告	.....	P 9
一般質問	.....	P 10～
マチカドフォーカス・あとがき	.....	P 20

表紙企画！

1枚の写真を表・裏で  
使っています。  
見開きでお楽しみください！

議員が  
チェック

# 今年の新規注目事業

## 公共施設予約システム・Wi-Fi 整備

約 549 万円  
公共施設の予約をネットで可能とする  
公民館等に Wi-Fi 整備する

## 次世代自動車購入費補助金

約 1000 万円  
電気、プラグイン、燃料自動車の購入に対し補助金

## 放課後児童クラブ創設工事

約 1 億 746 万円  
利用希望者増加のため  
苅田小学校児童クラブ増築

## 急速充電器更新事業

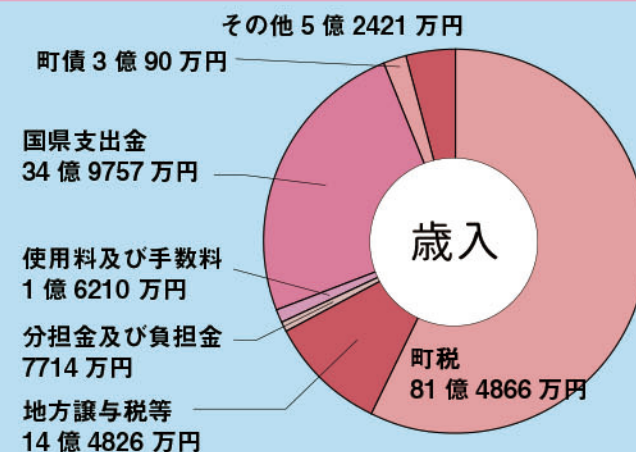
約 728 万円  
利便性向上のため  
急速充電器を更新

## 子育て支援情報配信サービス

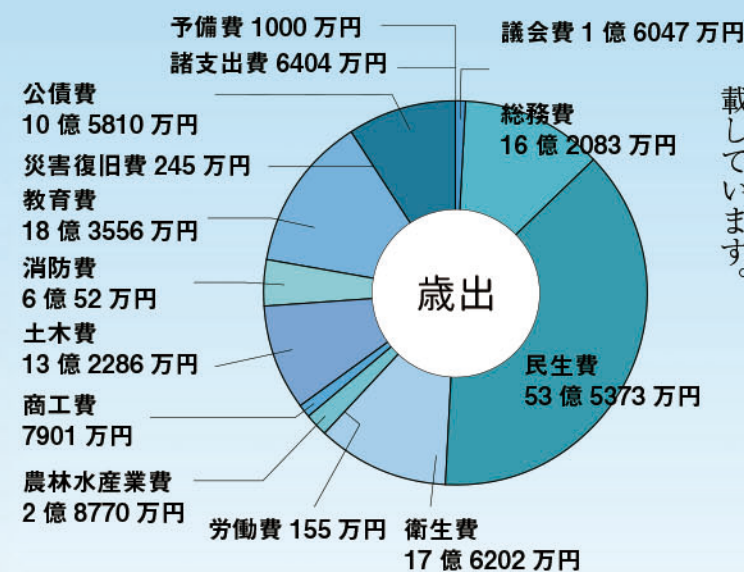
約 77 万円  
アプリを導入し  
情報配信や管理を行う

令和 4 年度予算

予算総額 141 億 5884 万円  
(前年度比約 6 億 1059 万円増)



3 月定例会は、2 月 25 日から 3 月 24 日まで開催、令和 4 年度予算をはじめ、条例の制定・改正や、人事案件などいずれの議案も可決しました。令和 4 年度の一般会計予算は、141 億 5884 万円と前年度比 4.5% の増で、初の



140 億円超えの予算となっています。予算特別委員会での主な審議内容は 4 ページに、議案に対する主な質疑は 6 ページに、付託委員会の審議内容は 7 ページに、議決結果は 8 ページに掲載しています。

		前年度比
一般会計	141 億 5884 万円	104.5%
特別会計	国民健康保険特別会計	34 億 3002 万円 108.0%
	後期高齢者医療特別会計	5 億 4027 万円 101.3%
	介護保険特別会計	29 億 4596 万円 105.1%
	土地区画整理事業特別会計	8 億 9439 万円 94.0%
	住宅新築資金等特別会計	262 万円 101.2%
	苅田臨空産業団地開発事業特別会計	277 万円 100.0%
	京都郡公平委員会特別会計	97 万円 101.0%
合計	219 億 7584 万円	104.5%

デジタル化(DX)の推進、安心安全のまちづくり、脱炭素社会の実現、未来への投資、新型コロナウイルス対策の 5 本柱

**予算特別委員会**

**一般会計予算**

【労働費】  
 Q 若年者専修学校等技能習得資金貸付金の実績は。  
 A 実績はないが、県からの委託事業である。

【農林水産業費】  
 Q ライスセンターの利用状況は。  
 A 稼働率で4割程度。

【商工費】  
 Q 工場適地調査はどのような業者に委託するのか。  
 A 建設系コンサルタントへ委託する予定。

【土木費】  
 Q 道路維持補修工事の増額理由は。  
 A 舗装の個別施設設計画に沿って行う。

**【消防費】**

Q 土のうステーションは全ての区に設置しているのか。  
 A 33区に45か所設置。

Q 自主防災組織の数は。  
 A 34団体。

【教育費】  
 Q 電子黒板を設置する教室はどこか。  
 A 普通教室に加え特別教室も含まれている。

Q コンビニでの公共施設利用料支払いはいつからできるのか。  
 A 秋頃を目標としている。

【諸支出金】  
 Q まちづくり基金積立金の内容は。  
 A ふるさと納税分を積み立てるもの。

【歳入・町税】  
 Q 滞納繰越分が計上されているが、回収

可能か。

A 回収見込みである。

**国民健康保険特別会計予算**

Q 令和6年までに赤字を解消するようにとの指導であるが、見込みは。  
 A 現在の状況が続けば見込みはある。

【後期高齢者医療特別会計予算】  
 Q 郵便料の増額理由は。  
 A 年度内での自己負担割合変更があることが決まっているため、保険証を二回送る必要がある。

【介護保険システム】  
 Q 介護保険システムの借り上げ料が前年に比べ減額となつて

いる理由は。

A 令和3年度はシステムの改修費用が計上されていたため。

Q 居宅介護サービス給付費が前年に比べ増加している理由は。  
 A これまでの伸び率を考慮して予算化を行った。

【土地区画整理事業特別会計予算】  
 Q 保留地売却についての対策は。  
 A 現在大型の4区画として販売しているが、8区画に分けて販売を行う。

【住宅新築資金等特別会計予算】  
 Q 現在回収ができていないのではないか。  
 A 年間200万円程度の入金がある。

Q 回収額より予算額

が上回っている状況

であるので、債権放棄を含め検討しては。

A 検討しているが、債権放棄のためには、債務者の調査等が必要となる。

**下水道事業会計予算**

Q 事業収入を得る努力が必要では。  
 A つなぎ込みの見込みが多いエリアを中心に整備、努力していく。

【提言】自然環境を維持することが目的であるので、既存の計画にこだわらずに対応してほしい。

【水道事業会計予算】  
 Q 老朽管の更新はどのような計画で進めるのか。

A 年間5億円程度を計画しているが、現在は人員不足のため、年間2〜3億円程度の工事を行っている。

**一般会計補正予算(第1号)**

Q 県主導の政策であり効果はあまりない、本町独自の支援策を検討してみても。  
 A 今後様々な方法を検討していく。

**3月定例会**

**令和4年度苅田町一般会計予算等を慎重審議**

一般会計補正予算等36件、発議1件、決議1件、決議1件、意見書1件

2月25日  
 ~  
 3月24日

**補正予算**

令和3年度苅田町一般会計補正予算(第12号)は、歳入歳出それぞれ3千552万3千円を追加し、総額は163億650万3千円。

**条例制定**

●行政組織変更に伴う関係条例の整理  
 ●機構改革に伴う関係条例の整理  
 ●部落差別をはじめあらゆる差別解消をめ

**条例改正**

●山口ダムかんがい用水使用料に関する条例  
 ●土地改良区が解散することに伴い、町が使用料条例を制定。  
 ●行政機関の保有する個人情報に関する法律等の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例

**条例改正**

●苅田町駐在員等設置条例  
 ●謝金や業務内容等、近隣市町村との均衡を考慮し増額。  
 ●職員の育児休業等に関する条例  
 ●非常勤職員の育児休業・介護休暇等の取得要件の緩和。  
 ●特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例  
 ●学校運営協議会委員の職を新たに設置するための。

**その他の議案**

●町道路線の認定  
 ●町道路線の変更  
 ●2路線の起点及び終点を変更  
 ●(専決処分) 第11号

5億9千425万7千円。

**人事案件**

●人権擁護委員の推薦  
 ●中村 保氏の任命  
 ●教育委員会委員の任命  
 ●横尾 直人氏の任命

**追加議案**

●30%のプレミアム地域商品券

**\* 令和3年度補正予算**

【一般会計補正予算(第12号)】 歳出(増額補正の主なもの) ・新型コロナワクチン3回目、5歳~11歳の接種	3552万円
【一般会計補正予算(第13号)】 ・戸籍情報システム改修 ・地域密着型施設等整備補助金 ・国民健康保険特別会計繰出金 ・ため池耐震調査及び実施計画 ・港湾整備事業負担金 ・土地区画整理事業特別会計繰出金 ・公共施設整備基金積立金 ・企業立地奨励基金積立金	233万円 2688万円 1979万円 1092万円 2400万円 2億3136万円 4億円 2億円
【住宅新築資金等特別会計補正予算(第1号)】 ・一般会計への繰出金	234万円

●デジタル社会の形成を図るための法律が公布されたことにより、法の保護に関する法律に一本化されるため、法律の規定を引用している関係条例の改正を行うもの。

●職員給与に関する条例  
 ●期末手当の支給率を引き下げ、地域手当を現在の支給状況に合わせる、職務7級に政策監

●放課後児童クラブ設置条例  
 ●与原小学校内に新たに放課後児童クラブを設置。  
 ●消防団員の定員、任用、給与、分限、懲戒、服務等に関する条例  
 ●消防団員の定年の改正。

## 議案質疑

▼令和4年度一般会計予算  
**【総務管理費】**  
**Q**庁舎改修工事の内訳は。  
**A**急速充電器の入れ替えと利用の有料化。  
**Q**補助金の有無と設置費用は。  
**A**未確定。費用は、720万円。  
**Q**町と利用者のメリットは。  
**A**町は電気自動車の普及を図れる。利用者は24時間いつでも利用できる。  
**Q**基幹系システムプログラムの今後は。  
**A**令和7年度の標準化に向けて更新する。  
**【民生費】**  
**Q**総合福祉会館や公衆施設の長寿命化に対する考え方は。

**A**機能・目的が同一の建物は今後、統合・複合化を図る。  
**【児童福祉費】**  
**Q**保育士・幼稚園教諭の処遇改善は適正に支給されているか。  
**A**適正と判断している。  
**【保健衛生費】**  
**Q**火葬場の修繕費が増加。理由は。  
**A**炉内耐火物の全面張替えに約3800万円かかる。  
**Q**件数の調査と今後の修繕費の考え方は。  
**A**高齢社会であり増加傾向。止められない事業なので修繕で対応する。  
**【商工費】**  
**Q**工場適地調査の内容容は。  
**A**県の補助金を使い、工場立地が可能な場所を専門家に調査依頼する。

**【土木費】**  
**Q**苅田駅東口広場将来需要予測の内容は。  
**A**駅東口全体の利用状況の調査。  
**▼**令和4年度一般会計補正予算(第1号)  
**【商工費】**  
**Q**プレミアム商品券の効果、調査は。  
**A**コロナ対策でプレミアム率を30%にして発行。アンケート調査により、半分を小型店のみとするこゝとで配慮をしている。  
**Q**効果が大きいとは思えないが、測定はしているのか。  
**A**アンケート調査を実施している。  
**Q**大型店以外の店でしか使えないという検討はしたのか。  
**A**利用者にとって、大型店を外すと利便性が悪くなる。

▼令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)  
**Q**県の指導で、令和6年までに赤字解消するようにしているのか。  
**A**通達は来ている。できるだけ解消に努める。  
**【総務】**  
**▼**苅田町駐在員等設置条例  
**Q**12万6千円の積算根拠となぜ今改正なのか。  
**A**近隣市町村の平均値の額で、2年間で平均値額にした。  
**▼**苅田町職員の育児休業等に関する条例  
**Q**現在の対象者は。

**A**4名。  
**▼**苅田町職員の給与に関する条例  
**Q**内容は。  
**A**夏と冬のボーナス合わせて0.15月分減額。  
**Q**公務員の賃金を下げたら、民間企業は上げないのでは。  
**A**人事院勧告に合わせたもの。  
**【産業建設】**  
**▼**山口ダムかんがい用水使用料条例  
**Q**制定の経緯は。  
**A**土地改良区の解散に伴い管理業務を引き継ぐため。  
**Q**使用料の変化は。  
**A**現在の金額と同額である。  
**▼**一般会計補正予算(第13号)  
**【総務費】**

**Q**北九州空港負担金の内容は。  
**A**空港の整備に対する負担金。  
**【農林水産業費】**  
**Q**委託料の内容は。  
**A**ため池の耐震調査。  
**Q**終了は。  
**A**令和7年度以降。  
**【商工費】**  
**Q**企業立地旅費の減額理由は。  
**A**コロナで執行できなかった。  
**【土木費】**  
**Q**街路事業測量費の増額理由は。  
**A**南原・殿川線の測量面積が大きくなったため。  
**▼**土地区画整理補正予算(第3号)  
**Q**繰入金約2億円の増額の理由は。  
**A**保留地が売れなかったため。

## 厚生文教

### 常任委員会

▼一般会計補正予算(第13号)  
**【民生費】**  
**Q**2688万円の詳しい内容は。  
**A**令和3年4月の公募結果で医療法人博愛会が県の補助金を使って施設整備をするもの。  
**Q**どういう形態か。  
**A**18床のグループホームである。  
**【労働費・若年者専修学校等技能習得貸付金】**  
**Q**毎年使われていないが、何かいい工夫はできないのか。  
**A**県からの移譲事業で本町の裁量は一切ない。  
**【教育費・奨学資金貸付金】**

**Q**624万円余っている。これは本町独自の事業なので借りにくいのであれば給付型にできないか。  
**A**応募多数となり選考が非常に難しくなることが予想される。慎重な議論が必要である。  
**【文化・芸術鑑賞助成金】**  
**Q**コロナで中止になっている事業はやめたらどうか。  
**A**子どもたちに本物の文化・芸術に触れる機会を与えることは、大変重要なことなので続けていきたい。  
**▼**国民健康保険特別会計補正予算(第4号)  
**Q**災害等臨時特別補助金返還金146万8千円の内

容は。  
**A**新型コロナウイルスによって収入が減少している方に対して減額措置が行われた。令和2年度分の補助金に対する返還金である。  
**Q**何人くらいが該当していたのか。  
**A**令和2年度は107人である。  
**▼**介護保健特別会計補正予算(第4号)  
**Q**介護予防福祉用具購入費110万円の説明を。  
**A**要支援1及び2の方を対象としたシャワーベンチやベッドなど福祉用具を購入した際の助成金。  
**Q**一人当たりの限度額は。  
**A**年間10万円。

## 議会のうごき

1月	8日	総務常任委員会行政視察(滋賀県竜王町)	2月	16日	議会運営委員会(令和4年第1回議会定例会)
	11日	議会広報特別委員会(151号の企画・編集)		21日	全員協議会(令和4年第1回定例会提出予定議案)・議会広報特別委員会(152号の企画・編集)
	13日	福岡県町村議会議員研修会「激動の東アジア情勢と岸田政権の行方」		22日	議会運営委員会(令和4年第1回定例会)
	14日	議会広報特別委員会(151号の企画・編集)		25日	議会開会・予算特別委員会(正副委員長選出)
	20日	議会運営委員会(協議事項)		28日	議会質疑
	28日	議会運営委員会(協議事項)			
3月	4日	全員協議会(令和4年第1回定例会追加提出議案)・議会運営委員会(令和4年第1回定例会追加提出議案)・追加議案上程、追加議案質疑、一般質問		7日	一般質問
				11日	付託委員会
				15~16日	予算特別委員会
				22日	議会運営委員会(決議案、議会報告会)
				24日	閉会・議会広報特別委員会(152号の企画・編集)

**6月定例会の予定**  
 \*会期は6月7日(火)から6月24日(金)まで  
 \*一般質問は6月15日(水)16日(木)17日(金)  
 \*開会時間 午前10時~午後5時  
 \*傍聴受付 庁舎6階にて  
 \*問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

**議会中継アクセス件数**  
**3月末時点アクセス件数**  
(令和3年4月からの累計)  
 ライブ中継 943件  
 録画中継 2,340件

**総務常任委員会視察研修 ▶▶▶ 滋賀県竜王町（1月6日）**

**研修内容** コンパクトシティ化構想・ランドデザイン構想、シティプロモーション

竜王町は、町内のすべてが市街化調整区域に指定され、滋賀県内で消滅可能性自治体となっている。ランドデザイン構想とコンパクトシティ化構想を立ち上げ、30年後のまちの理想の姿をみんな考え、また、町民に示すことで、目標に向けて町が一つになり取り組んでいこうとしていた。

シティプロモーションについては、居住者・事業者等から「選ばれる自治体」となるため、

まちの魅力を発掘・再認識して、定住人口の獲得、企業誘致、来訪者の増加等を目指す取組で、人口減少に歯止めをかけるため「若者」にとっての町の魅力を的確に発信し、コンパクトシティ化構想を見据えた戦略的プロモーションだった。

本町にも、シティプロモーションを取入れてまちの魅力発信を行い、人口減少時代に対応した取組みの必要性を感じることができた。



**産業建設常任委員会視察研修▶▶▶ 徳島県小松島市（11月15日）**

**視察内容** 企業誘致・企業立地について

小松島市は、航路撤退・小松島線の廃止・大手企業の撤退により、人口減少・財政悪化と暗いニュースが多い近年であった。

そこで、企業誘致を積極的に行うことで、町の活性化を目指すことを重要施策とした。

小松島市の企業誘致は本町が現在行っているものとは全く違う業種や方法であった。

- ・事務系の企業に的を絞る
- ・分譲地に誘致するのではなく、民間の空き店舗、空き用地を利用

- ・地元の人に雇用を増やす
- ・女性にとって働きやすい環境である

本町の企業誘致は県の主導で製造業を中心に誘致を行っている。また、補助制度も、それを中心とした内容となっている。

しかし、今後はアフターコロナを見据え様々な業種の誘致が必要だと考えれば、町が企業誘致すべき目標は小松島市にヒントがあるように感じた。今後も調査研究を重ねていきたい。



**研修報告**

**町村議会議員研修会（福岡市博多区・1月13日）**

1月13日に、福岡国際会議場にて福岡県町村議会議長会主催の研修会があった。議会より8名が参加し、政治ジャーナリスト石橋文登氏による講演に耳を傾けた。



厚生文教常任委員会の視察研修について  
福岡県において、まん延防止等重点措置が実施されたため、予定していた視察研修を中止しました。

**令和4年第1回 苅田町議会定例会議決結果一覧表**

議案番号	議案題名	末石伸二	花見文敏	村上智宣	屏正隆	岩谷潔	尾形均	白石学	友田敬而	榎谷忠明	小山信美	井上修	武内幸次郎	梶原弘子	松蔭日出美	坂本義樹	結果	
発議第1号	町長の専決処分事項の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
決議第1号	ロシアのウクライナ侵攻に断固抗議する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第1号	令和3年度苅田町一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第2号	令和4年度苅田町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第3号	令和4年度苅田町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可決
議案第4号	令和4年度苅田町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可決
議案第5号	令和4年度苅田町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可決
議案第6号	令和4年度苅田町土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第7号	令和4年度苅田町住宅新築資金等特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第8号	令和4年度苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第9号	令和4年度京都府公平委員会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第10号	令和4年度苅田町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第11号	令和4年度苅田町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第12号	行政組織変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第13号	苅田町駐在員等設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第14号	行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律等の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第15号	苅田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第16号	苅田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第17号	苅田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第18号	苅田町放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第19号	苅田町部落差別をはじめあらゆる差別解消をめざす人権擁護条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可決
議案第20号	山口ダムかんがい用水使用料に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第21号	苅田町消防団員の定員、任用、給与、分限、懲戒、職務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第22号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第23号	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第24号	令和3年度苅田町一般会計補正予算（第13号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第25号	令和3年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第26号	令和3年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第27号	令和3年度苅田町介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第28号	令和3年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第29号	令和3年度苅田町住宅新築資金等特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第30号	令和3年度苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第31号	令和3年度苅田町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第32号	令和3年度苅田町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第33号	専決処分について（令和3年度苅田町一般会計補正予算（第11号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第34号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第35号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第36号	令和4年度苅田町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見書案第1号	介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

○—賛成、×—反対 ※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。  
※可決された意見書は、関係機関に送付しました。

### Q JR小波瀬西工大前駅の完成は

A 任期中に見通しをつけたい



井上 修 (飛翔の会)



#### 県道須磨園南原線

Q 令和4年度までに開通できるのか。

A 令和4年度の供用開始に向けた整備状況を把握している。

Q 令和3年度までに完成予定だったが、遅れの原因は。

A 事業主体が福岡県。直接原因については把握していない。

Q 今古賀、百合ヶ丘に上がる町道は坂道が多い。雨水対策は十分検討していたか。



県道須磨園線

A 県と本町で詳細な協議を行っている。

Q 行橋側の佐谷の森踏切と新津踏切区間は通学路でもある。規制対策をしてほしいが。

A 福岡県の警察と協議中である。

#### JR西工大前駅

Q 今日までの進捗状況は。

A 現在は主に鉄道事業者と事業の方向性について協議を行っている。

Q 基本設計に近いものはできているのか。

A 基本設計業務の実施までは至っていない。

Q 国からのバリアフリー対策援助交付金は令和7年度末で打ち切りでは。

A 整備目標年次が令和2年度までとされていたが5年延伸で令和7年度となる。

Q 町長の公約でもあるJR西工大前駅の完成は町民の期待も

公平性と考えるが。

A そこまで踏み込んだ検討はまだ行っていないが、検討課題と認識した。

Q 公共施設の統廃合の真の目的は施設の維持管理の継続。統廃合に頼らない施策の検討を。

A 民間活力を活用すべきだと考えるが、まだそこまでの検討は行っていない。

#### 学校施設の統廃合

Q 学校の統廃合は大きな問題。本町の子どもは本町で義務教育を。

A 学校教育基本法で定められている。

Q 他の自治体が学校の維持に工夫している内容は把握しているか。



JR小波瀬西工大前駅

A 必要な予算を計上できるように頑張っている。

#### パンジープラザ・総合福祉会館

Q パンジープラザの将来的な考えは。

A 老朽化により、パンジープラザを5年後に廃止できないか、

関係者と協議検討する。

Q 総合福祉会館については。

A パンジープラザの機能を統合・集約していく方向で考えている。



パンジープラザ

Q 突然のパンジープラザの廃止その真意は。

A 修繕費等の維持コ

### Q 本町の公共施設の統廃合は

A 総合計画と個別計画に基づき進める



友田 敬而 (大樹会)



ストの高騰。

Q パンジーは本町福祉政策の要、丁寧な対応を望む。

A サービスを維持するための判断。

Q パンジーに関わる町民は立場の弱い方が多い。特段の配慮を。

A 関係者ときちんと話して進める。

Q サービス維持の観点から統廃合は必要なのか。



総合福祉会館

A 様々な工夫を行っていることは理解している。

Q 公民館、プール、体育館などを利用する等、知恵を絞ってほしいが。

A 様々な方法を検討

する。

Q 教育関係の再配置は。

A 子どもたちのためになることが一番大事。過去の経緯を総合的に判断する。

### Q 白川校区の現状と今後の振興施策は

#### A 農業振興施策を中心に実施をしてきた



松蔭日出美（無党派）



Q 白川地区の農業振興で具体的なものは。

A 山口ダムの建設、ほ場整備、多面的機能支払交付金、ビニールハウスの補助、鳥獣被害とその防止への補助、農業公社の設立等。

Q 今後の振興策の予定は。

A 中山間地域等直接支払交付金や鳥獣対策フェンス補助を検討中。

Q 課題は。

A 今年度のアンケート

ト調査では、高齢化・後継者不足による新たな農地の受け皿の確保があげられていた。

Q 等覚寺周辺で子ども遊び場を建設する予定だった土地の地目は。

A 雑種地・山林等。

Q 計画の内容は。

A 里山体験学習の森整備事業を平成18年に計画している。

Q その土地の所有はどうか。

A 町が競売で購入。

Q 子どもの遊び場を購入する目的で購入して、なぜ実行しないのか。

A 平成25年に総合的理由で事業を凍結し、再開の目途はたっていない。

Q 再開しない具体的な理由

A 公共施設の改修に多額の費用を要することな



等覚寺の風景

どがあげられる。

Q 等覚寺のみそ工場の横の道が狭く、側溝もないため、雨水が処理できない。整備する計画を望むが、現状は。

A 現地を確認する。

Q 役場から荻田駅までの点字ブロックの現状は。

A 今年度中に役場周辺の点字ブロックの汚れを高圧洗浄により見やすくする。

Q パンジープラザの方向性は。

A 5年以内に廃止す



パンジープラザ

る方向で検討の協議をはじめ。

提言

パンジープラザは、壊さずに貸与を、建設するなら白川地区の振興になる場所を望む。

Q 長畑の町営住宅の現状は。

A 全体で50戸あり、39戸入居中。

Q 線路の下の状況は。

A 13戸入居中。

Q 空いた町営住宅は解体し有効活用する

べきだが。

A 民間に活用したほうがいいという意見もある。

Q 最初に提言してから10年近くになる。定住化のために早急に利用したほうがいいのでは。

A 様々な方法を検討しているが、居住されている方がいるため、時間を要していることも理解してほしい。

### Q デジタル化推進について町の理念は

#### A 業務効率化・町民サービスの利便性の構築



白石 学（公明党）



Q マイナンバーポータル活用のについて、国が示す31手続きのオンライン化の取り組みは。

A 介護、子育て、防災の27手続きについて、令和4年度中の運用に向け協議している。

Q デジタル化にはマイナンバーカードの普及が必要だ。普及率はどの程度か。

A 2月20日時点で、48・4%だ。

Q マイナンバーカー

ドの普及について、利便性等わかりやすい説明を発信しては。

A マイナンバーカードは有効なツールだ。ポインタ、優位性等広報等で発信する。

Q デジタル化には人材の確保と育成が重要だ。どのように進めるのか。

A 今は3人だが、4月にデジタル推進室を設置する。職員を増やし具体的に進める。

Q 高齢者のデジタル

化推進が重要だ。高齢者に対する支援は。

A 利用者目線、職員目線、地域の目線と、いろいろな施策を打っていく。

Q 講座を設けるなどの具体的な支援は。

A 一部スマホ講座がある。各公民館にWi-Fiを設置し、充実した講座になるよう検討する。

### 防災・減災

Q 災害対策本部の設置基準は。

A 大雨では、警報発表後、災害警戒本部が設置され、状況により災害対策本部設置となる。

Q 浸水害の基準は、以前は1時間雨量60ミリだった。今は表面雨量指数で分かりにくい。

A 表面雨量指数とは、雨が地中にしみ込まず地表面にたまる量の事。短時間強雨による浸水リスクの高まりを把握するため。

Q 本町は浸水害の表面雨量指数が35となっているが。

A 市町村ごとに設置され、本町は指数35になったとき、福岡管区気象台が警報を

発表する。

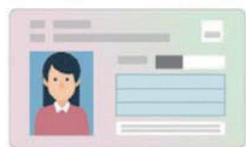
Q 町民に数字の公表は。

A 公表していない。気象庁のホームページで確認できる。

Q 表面雨量指数35ではわからない。警戒を知らせるための方策は。

A 発刊している防災情報マップの更新時期に内容を記載する。

### マイナンバーカードでできること



- ・身分証明書として利用
- ・オンラインでの行政手続きなど

### マイナンバーカード作成の流れ



顔写真を用意し  
スマホ等から申請

約1カ月



役所へ  
受取に行く

### Q 遊休資産の運用・活用について

#### A 有効活用できていない



尾形 均 (無党派)



**Q** 主な遊休資産の筆数、面積は。

**A** 普通財産で115筆21・4万㎡。うち85%は活用しにくい。行政財産は30筆32・3万㎡。

**Q** 城南団地の居住状況は。

**A** 400戸中249戸入居、151戸空き家。

**Q** 現状の善後策を検討したことは。

**A** 余地については検討中。空き家については具体的なものは

はない。

**Q** 長期間、現状が続いている。真剣に考えるべきでは。

**A** 一体的な土地として売却するか、公共施設の予定地がいいか、その使い方を検討中。

**Q** 長畑団地の居住状況は。

**A** 3ヶ所に分かれている。計50戸で39戸入居中。

**Q** 入居率はやや高いが、将来の見通しは。

**A** 空き家は解体。同

時に移転の促進を図り、余地を作り売却を進める。

**Q** 小波瀬駅前広場は。

**A** 面積2400㎡。都市計画道路として昭和31年決定。平成6年土地区画整理事業による整備後、そのままの状態。

**Q** 以前より小波瀬駅の移転用地だと聞いていたが。

**A** 広場は駅周辺整備事業の一環としてエリア全体のなかで考

えたい。

**Q** 当該地は都市計画決定上、道路になっている。道路以外にはできないのでは。

**A** この事業は道路の安全対策の他、駅舎をどうするかの協議もしている。ただ他に利用の可能性はある。

**Q** 何年前から協議しているのか。

**A** 26年前から。

**Q** 二崎山の今日の状況は。

**A** 平成15年に町が購入し、今のところそのまま。

**Q** 公園を造れば町民の憩いの場になる。これは町民福祉に寄与できるのでは。

**A** 区画整理事業地の中に与原公園がある。隣接地に公園を造るのは適切ではない。

**Q** 最後に財政とは。

**A** 入るを計りて出づるを制する。

**提言** 遊休資産解消は町の財政、町民福祉に寄与する。しかし対応が全く遅い。速やかに対応のこと。



城南団地跡地

### Q 公共施設の有り方の共有を図りたい

#### A 時代背景も含め検討する



武内幸次郎 (大樹会)



**Q** 昨年に示された公共施設個別計画では廃止や複合化には踏み込んでいないが。

**A** 今後、検討を行っていく。

**Q** 町民に便益を図るということであるが、必要なもの、そうでないものが混在しているのでは。

**A** 社会情勢も変わってきた。行政の守備範囲としても考える点が多々ある。

**提言** マネジメントの考え方を持って、施

設の在り方を考える必要がある。

**Q** 福祉施設の複合化は5年を目途に行うとのことだが、期間短縮はできないのか。

**A** これから検討を始める。速やかにと考えている。

**Q** 民間施設等が充実してきた。公共でなければ出来ないサービスなのかという視点が必要だが。

**A** 民間の力の活用を含めサービスの在り方を検討する。

**Q** 民間賃貸住宅を借り上げ、家賃補助を行い町営住宅として活用しては。

**A** 跡地利用も含め、民間施設借り上げについても検討する。

**Q** 各学校にプールが併設されている。温水プールを活用すればコストダウンになるのでは。

**A** 難しい点もあるが参考にする。

**Q** 本町には図書館の他、公民館にも図書室等がある。知識の

習得が目的ならば、ICTを用いたweb環境を整えればよいのでは。

**A** 一つの目的に捉われず多機能活用も含め検討したい。

**Q** 公共施設管理計画にごみ処理施設は含まれていないが。

**A** 様々な検討を行っているが、場所選定や処理方法等も含め先送りになっている。

**提言** 課題が積み残しになっている。町長のリーダーシップを期待したい。



総合体育館



### Q 充電設備（EV）の普及促進の取り組みを

A どう進めていくか検討していきたい



末石 伸二（飛翔の会）



### 次世代自動車

Q 次世代自動車購入費補助の対象車種は。

A 国内メーカーの電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車。

Q 補助率と上限金額は。  
A 本体価格の5%だが、上限は電気自動車20万円、プラグインハイブリッド自動車15万円、燃料電池自動車35万円となっている。

Q この補助制度の開始予定は。  
A 令和4年度から令和6年度までの3年間を予定している。各年度1000万円の予算。

Q 自宅用充電器の普及促進の取組みとして、補助制度を願っていたが。  
A 普及状況等を見ながら検討していきたい。

提言 環境に負荷をかけない取り組みとして、更なる次世代自動車の普及促進政策を進めていただきたい。

### コロナ感染拡大における保育現場の実態

Q コロナの影響により、通常保育以上の仕事量となりながらも、休園を最小限に抑えている保育現場に対し、本町の受け止めは。  
A 非常にありがたく感謝している。現状では1600万円のコロナ感染症対策事業補助費で対応している。

Q 国の経済対策で、保育士等への継続的な賃金、月約90000円アップは実際支払われているのか。  
A 経験年数等により違いはあるが、平均、月約90000円で各個人へ確実に支払われている。

Q 保育関係のコロナ感染者数は。  
A 2月末時点で園児が107名、保育士（職員含む）が34名。

Q 本町の独自施策である、施設等の業務において、コロナに感染した場合の見舞金20万円の申請状況は。  
A 現在の申請は2件である。

Q 保育士のモチベーションアップや離職防止も含め、独自の支援策で保育関係の一人ひとりに対し、慰労金が必要では。  
A 医療や福祉事業に対する補助金が支給された時に、対象から外れていたため、検討する必要がある。

提言 園児や経済を守っている保育士を町がしっかりと守ることを望む。



公用車に次世代自動車 ARIYA を導入

### Q 地域の協力で特色ある学校運営を

A 地域と共に教育活動を推進していく



岩谷 潔（飛翔の会）



### 小規模特認校制度

Q 概要は。

A 自治体内のどこからでも通学を認める。小規模校を存続する教育支援策の一つ。

Q 本町において採用した目的は。  
A 児童数に減少が見られた片島小学校の小規模に対する課題緩和のため。

Q 今後制度を採用する学校が増えるのか。  
A 一校で進めていく。児童数の状況は。

A 平成28年度校区内の全校児童数52名。本年度校区内28名、校区外12名、合計40名。

Q 校区外から通学している児童が制度を選択した理由は。  
A 小規模校のきめ細やかな指導が、我が子に向いているのではないかとという保護者の考え等。

Q 現状は、保護者の方々のニーズに配慮されているのか。  
A 学習・生徒指導とともに、きめ細やかな指導が出来る。地域総がかりで携わっていただく特色ある教育活動で、学力の向上も見られる。

Q 特色ある教育活動とは。  
A 地域の協力で、天神楽・浄土院川の川体験・片島環境調査隊等。ふるさと学習で、俳句を詠む会・防災について学ぶサバイバルイン片島等。

Q 農業体験は。  
A 小規模ながら行っ

ており、収穫したものはキッズマーケットで販売している。

Q もっと土と触れ合う教育を行っては。  
A 梅の収穫や梅干し作り体験等も行っており、特色ある学校としてアピールしていきたい。

Q 片島小学校の周知方法は。  
A ホームページや年一回の広報誌。また、公民館等の施設にパンフレットを置いてある。

Q 他の自治体に比べると周知方法が足りないのでは。  
A 教育相談時にも紹介している。丁寧に広報・周知をしていく努力をする。

Q 今後、制度を運営するにあたっての課題は。

A 多様な考えの交流は難しい。校区外から通学している児童は、住んでいる地域での友人関係が希薄になる。

用し大規模学校との交流を図り、高度な教育を目指しては。  
A 今年度は白川小学校とオンライン授業の試行を行った。来年度は与原小学校を検討したい。



一人一人が主役  
きらりと輝く片島小学校  
小学校1年生から6年生を募集しています  
小田町立片島小学校  
Tel. 0930-22-2495  
Fax 0930-22-2493  
※片島小学校は小規模特認校です。河田町内在住の児童は通学することができます。

### Q 平和の大切さについて発信を

**A** ウクライナで戦争状態になっていることは遺憾である



梶原 弘子 (無党派)



**Q** 苅田町は港を中心に重要港湾として発展してきた町、平和の大切さと、戦争の中止について発信を。  
**A** 戦争に反対する気持ちは明確である。

### コロナ対策

**Q** 3回目の接種済み者数は。  
**A** 令和4年3月6日時点で、9463名である。

**Q** 年少者の接種はどのように進めるのか。  
**A** 年少者から11歳のワクチン接種の説明会を開催し、接種券の発送は完了した。

**A** 5歳から11歳のワクチン接種の説明会を開催し、接種券の発送は完了した。

### 町内の様々なスポーツクラブ練習場の充実

**Q** 町内には、柔剣道場や、野球場、サッカー場、テニス場等があるが、ランニング専用グラウンドは無い。  
**A** 本町に陸上競技場は無いが、みやこ町の陸上競技場を使わせてもらっている。

**Q** 「みやこ町の陸上競技場」には本町が多大な資金を出した経緯があるが。  
**A** 現在は補助金等の支払いは発生していない。

**Q** 「ランニング」は運動上重要であるとして、効果的だと考えないか。  
**A** 有益かつ効果的だと考える。

**Q** 路上でもできる気軽なスポーツではあるが、整備されたランニング場を望む。  
**A** 大熊公園や向山公園、臨海公園、各小中学校の校庭等を利用していると認識している。

**Q** 臨海公園はこの所有か。  
**A** 県の所有で、町の交通商工課が管理している。

**Q** 「苅田港緑地公園」の簡易舗装で子ども達は練習している。走るための施設を作ってほしいが。  
**A** 整備したいが、検討が必要。

**Q** いつも走るところを探し回っている指導者の方達を見かけるが。  
**A** 何らかの形で整備するために取り組むたい。

**Q** 今後の子育て家庭支援の取り組みは。  
**A** 取り組み強化のために、デジタル推進室を設置。精力的に取り組むたい。



苅田港緑地公園

### Q 読書通帳の導入を

**A** 効果について検討する



小山 信美 (公明党)



### 母子手帳アプリ

**Q** 導入に至った経緯は。  
**A** 近隣の導入。母子手帳を保管するものとして有益であり、デジタル化の一環。

**Q** 情報配信サービスの内容は。  
**A** 健診や予防接種の個別配信、地域の子育て情報配信など、アプリ登録を工夫する。

**Q** 今後の計画は。  
**A** 健診等の予診票入力や予約システムの活用に展開したい。

**Q** オンライン相談等の町独自の取り組みは。  
**A** 独自性を出して情報発信できるよう検討していく。

**Q** 外国人への連絡は。  
**A** 現在3カ国語だが、アプリを導入することで多言語対応に。

**Q** 当初予算にあるWi-Fi設置事業の場所は。  
**A** 役場2階ロビー、三原文化会館、4公民館ロビー、総合体育館の計7カ所。

**Q** パンジープラザや総合福祉会館の設置については。  
**A** パンジーはアプリ導入の関係で必要と考えており、検討したい。

**Q** デジタル化に取り組む本町としての見解は。  
**A** 一気に環境整備をしていきたいが、最初は様子を見ながら、今後の拡大を検討する。

**Q** 児童生徒の読書冊数の変化は。  
**A** 5年前の平成27年度は12万1570冊、令和2年度は6万967冊で49.9%の減少。

### 読書通帳

**Q** 今後の子育て家庭支援の取り組みは。  
**A** 取り組み強化のために、デジタル推進室を設置。精力的に取り組むたい。

**Q** 図書館運営の取り組みは。  
**A** 昨年8月より非来館型サービスとして電子図書館を開始。

**Q** 読書通帳を導入する事で、読書の意欲や重要性が拡大し、町の活性化にも役立つ。  
**A** コスト、導入の効果について検証し検討する。

**Q** 読書通帳を導入する事で、読書の意欲や重要性が拡大し、町の活性化にも役立つ。  
**A** コスト、導入の効果について検証し検討する。



読書通帳 (北九州市)

マチカド

Machikado FOCUS

フォーカス

## 荻田町バイオマス発電地帯

【バイオパワー荻田合同会社】

立地場所：荻田町新松山1丁目2番

発電所名：かんだ発電所

業務内容：バイオマス発電事業

出力規模：約7万5000kW（16万世帯相当）

想定年間発電量：約5億kWh／年

使用燃料：木質ペレット等



新松山臨海工業団地にあるバイオパワー荻田合同会社かんだ発電所（バイオマス発電所）の工事が完了し、令和4年2月17日に竣工式が行われました。（※営業運転開始は令和4年2月1日）今後もう1社増え、3社が操業する予定です。

### 議会広報特別委員会

委員長	沖永	義樹
副委員長	友田	敬而
委員	梶原	弘子
委員	小山	信美
委員	榎谷	忠明
委員	屏	正隆
委員	村上	智宣
委員	末石	伸二

### あとがき

新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の発令が解除されましたが、荻田町のコロナ発生状況はほぼ横ばいといった状況です。一時的に落ち着いても、さらなる変異株の発生など、先行きに不安を感じている方も多いことと思います。令和4年度の予算が発表となりましたが、今年度も荻田町議会は町民の方々に安心をお届けできるように頑張ってまいります。

村上 智宣